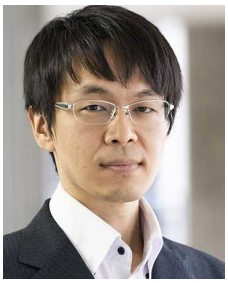
東京科学大学　難治疾患研究所　市民公開講座
― 最先端生命科学講座シリーズ　第４０回 ―

東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年から、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されています。
本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介します。
※本公開講座は医療講演ではありません。

日 時　**2025年 6月27日（金）午後７時～8時**

開催方法　**オンライン（Zoom）**

共 催　**東京科学大学・文京区・公益財団法人文京アカデミー**

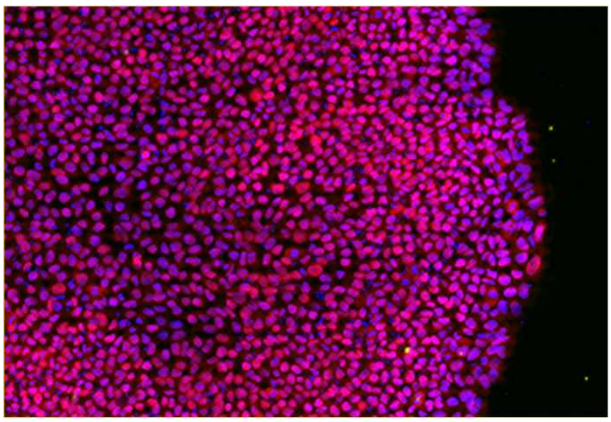


テーマ

iPS細胞をつかったウイルス研究

講 師

たかやま　かずお
高山　和雄（総合研究院 難治疾患研究所　教授）



新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしに大きな影響を与えました。こうしたウイルスに正しく対応するには、まずウイルスについてよく知ることが大切です。そこで、ウイルスが人の体の中でどのように振る舞うのかを調べるために、「ヒトiPS細胞」や「オルガノイド（ミニ臓器とも呼ばれる）」という最新の研究技術が使われています。
この講演では、これらの技術を使って、ウイルス感染がヒトの臓器や細胞にどのように影響するのかを、わかりやすくご紹介します。

6/18(水)23:59〆切　：定員50名・参加費無料・15歳以上対象（中学生を除く）
公益財団法人文京アカデミーHP（https://www.b-academy.jp/manabi/lecture/science.html）からお申し込みください。
◎〒112-0003 文京区春日1-16-21 アカデミー文京 学習推進係　TEL：03-5803-1119（平日9:00～17:00）

学際生命科学東京コンソーシアムは、東京科学大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさまと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。